

## グリスローモビリティの導入背景

さいたま市では、**バス・タクシー等の担い手不足**による公共交通サービスの縮退を踏まえ、公共交通分野の**共助拡充を検討**しており、**ラストワンマイルへグリスローモビリティ**（以下、グリスロ）を活用したボランティア輸送の取組みの導入可能性、実現可能性を検討している。

## グリスローモビリティの概要

グリスロは**時速20km未満で公道を走行**できる**電動車**を活用した移動サービス・車両の総称。コンパクトで低速な車両であるため、**地域内の身近な移動手段**として活用できるだけでなく、開放的な車両の特長を活かした**コミュニケーション装置**としての効果も期待される。



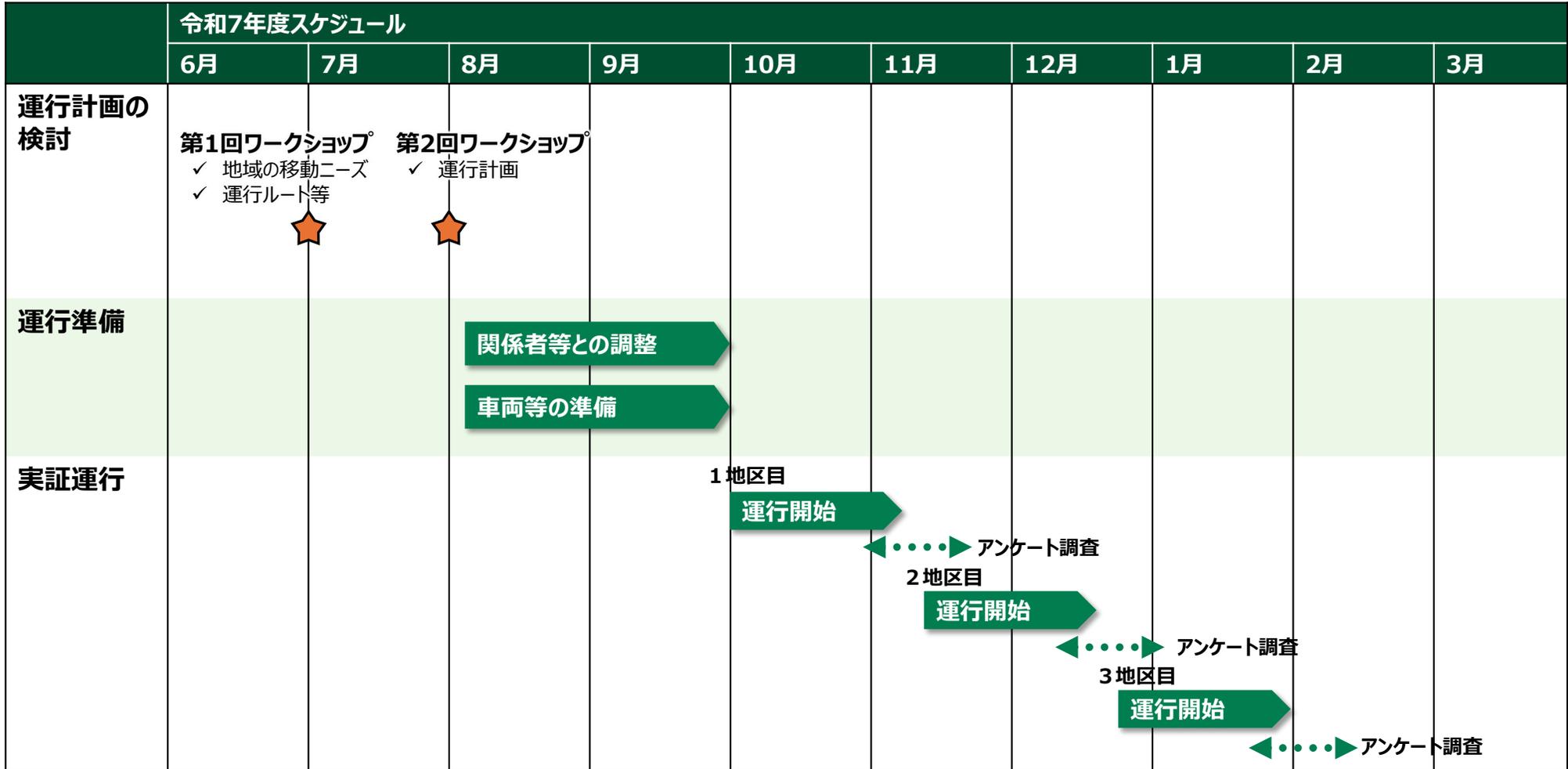
ヤマハ発動機ホームページより抜粋  
←グリスロの導入効果例

## 今年度実証実験概要（案） ※今後WSで決定予定

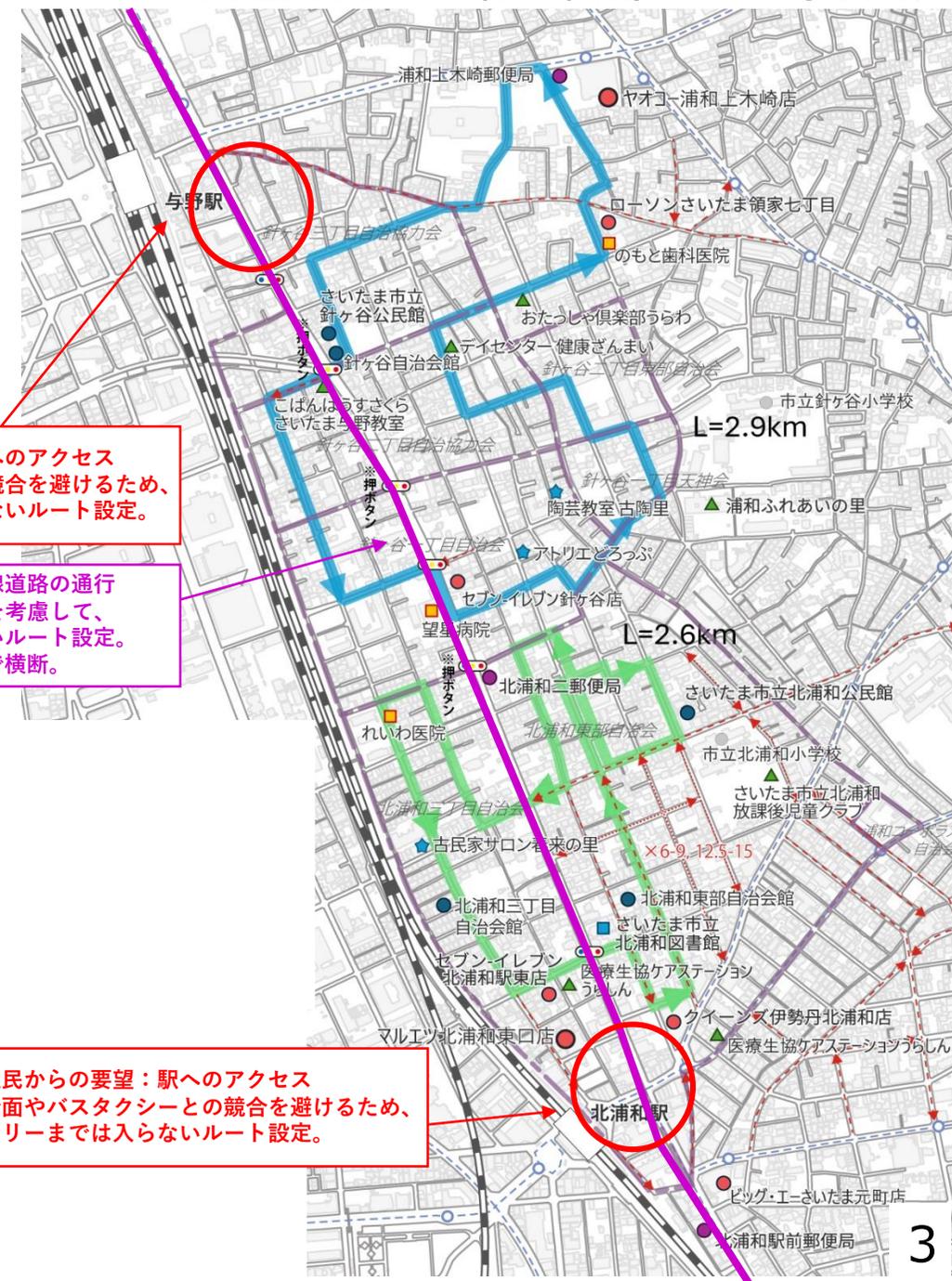
|      |   |
|------|---|
| 目的   | <ul style="list-style-type: none"> <li>グリスロの導入効果・影響検証</li> <li>→行動変容（外出機会の増加,地域内のコミュニケーションの活性化,他の交通機関や周辺店舗への影響）等を確認</li> <li>来年度以降の本格実装に向けた運行条件の整理</li> </ul> |
| 対象地域 | 浦和区北浦和・針ヶ谷地区<br>※高齢化率・ボランティア参加意思率が高い都市部エリアを選定   |
| ルート  | 3ルート（詳しくはR7グリスロ実証実験ルート案参照）<br>※乗降場所も含めて、今後住民WSで決定予定   |
| 実証時期 | R7.10~R8.1（約4ヶ月）<br>※エリアを3つに分割し各1ヶ月程度順次運行   |
| 運行時間 | 10~15時（平日）<br>※30分~1時間に1本程度の頻度を想定（路線定期運行）   |
| 対象者  | 長距離徒歩移動が困難な買い物・通院目的の高齢者<br>※実験では乗車条件は限定しない予定  |
| 運賃   | 無料  |
| 予約   | なし（座席定員制）   |
| 運転手  | 地元タクシードライバーを想定（市手配）   |
| 車両   | ヤマハ発動機社製 7人乗りカート  |
| 定員   | 7人（運転手+補助員+乗客最大5名）  |
| 台数   | 1台  |
| 安全対策 | 運転手はヤマハ発動機による安全講習を受講補助員（地元ボランティア等）も1名同乗<br>20km/h速度抑制装置車載   |

# 令和7年度 グリスロ実証実験概要

## 今後のスケジュール




 来年度以降は市内各地域からの公募制とし、地元ボランティアの運転手による実証を進め、本格実装を目指します



## グリーンスローモビリティとは

グリスロは時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスであり、その車両も含めた総称です

[略] グリスロ：グリーンスローモビリティ

- 1 Green**  
電動車を活用した環境に優しいエコな移動サービス
- 2 Slow**  
景色を楽しむ、生活道路に向く、重大事故発生を抑制
- 3 その他**  
同じ定員の車両と比べて小型、開放感がある、乗降しやすい等

従来の公共交通ネットワークを補完

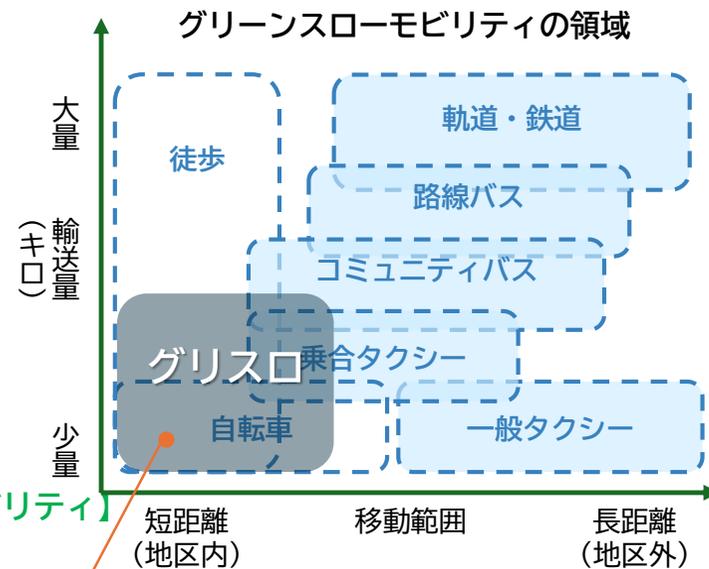
【従来の公共交通】

- ・はやく
- ・時間通りに
- ・遠くまで



【グリーンスローモビリティ】

- ・ゆっくりと
- ・余裕をもって
- ・近くまで



国交省総合政策局「グリーンスローモビリティ導入と活用のための手引き」より引用

## グリーンスローモビリティの特徴

### 乗り降り楽々

低床・オープン・ルーフが高い



### コミュニケーション増加

オープンで低速 → 道ゆく人とも会話



### 狭い道も楽々

車幅が軽自動車未満 (約130cm)

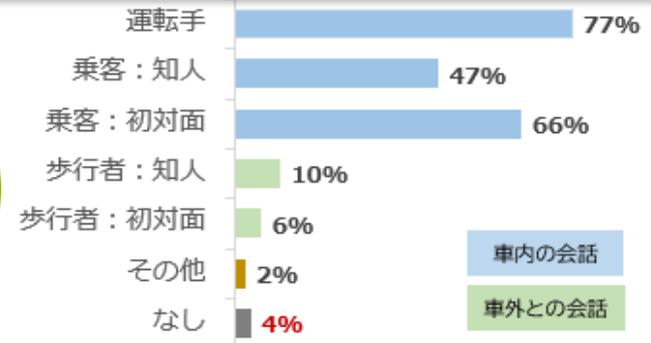


### ゆっくり・開放的でリラックス

自然と笑顔・会話もはずむ



乗客の96%が  
誰かと会話



※2022年千葉大学予防医学センターとの5か月実証実験  
高齢者341人の回答結果

## 高齢者の移動手段の確保に係るワークショップの開催

(令和7年2月6、7日)

### 【ワークショップ開催の目的】

- 高齢化と公共交通機関の運転者不足に直面するさいたま市において、「高齢者の実情」、「地域の実情（買い物や娯楽等）」、「移動手段の確保の手法」など、多角的な視点から意見交換を行う場を設けるとともに、「グリーンスローモビリティ」の乗車体験を通して移動手段の一助としての活用可能性について、検討を行うために実施

### 【参加者】

- 延べ44名（2日間合計）
- 地域包括支援センター、小売事業者、福祉局（高齢福祉課、いきいき長寿推進課）、区役所（コミュニティ課、高齢介護課）、都市局（交通政策課）

### 【ワークショップ実施状況】



ディスカッション



乗車体験



ワークシート（活用可能性の検討）



高齢者の移動課題エリアの抽出

### 【高齢者の主な課題】

- 買い物や通いの場（公民館等）への移動手段がない
- 坂道があり移動が困難
- 荷物を持って移動するのが大変
- クルマ・自転車に乗れない 等（特に多かった声）
- 買い物に行きたい

身近な移動における移動困難に対する意見が多く出された

## グリーンスローモビリティ実証実験

(令和7年度)

### 【概要】

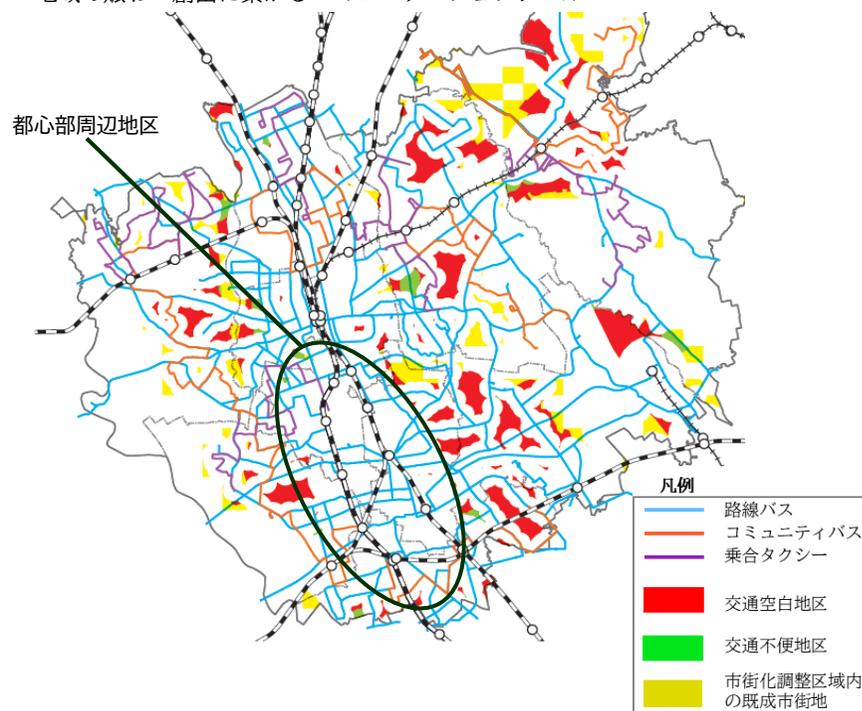
- 令和6年度に実施した高齢者の移動支援に係る調査・検討を基に、エリアや対象者などを限定し、実証実験及び効果検証を行う

### （具体的内容）

- ・ グリスロ運行実証実験（関係者調整・運行計画策定・事業広報含む）
- ・ 効果検証（移動頻度やコミュニケーションの頻度など）

### 【グリーンスローモビリティに期待する効果】

- 日常生活における短距離移動としての活用
- 高齢者等の外出率の増加・習慣化による健康増進及び医療費の削減
- 地域の賑わい創出に繋がるコミュニケーションツール



### ■想定スケジュール

|              | 令和7年度                    | 令和8年度   |
|--------------|--------------------------|---|
| グリーンスローモビリティ | 関係者調整<br>運行計画作成<br>広報・周知 | 実証運行 (Q3~Q4)<br>効果検証<br>実証実験・効果検証<br>再構築ガイドラインに基づき<br>他地区への展開検討 |

- 実証実験期間中は、市内全域に、グリーンスローモビリティの事業を周知
- 令和8年度以降の他地区展開につなげていく